

# STOP THE ATTACKS CAMPAIGN NEWS

2021.9.4



「フィリピンに人権を！フィリピンにおける超法規的殺害(EJK)を食い止めよう！」  
皆さまの優しさが、声をあげることによって弾圧され続ける被害者やその家族の希望です。

## ドゥテルテ大統領最後の施政方針演説 (SONA)

### 人権侵害被害者らの心の傷に塩

【解説】ドゥテルテ大統領は「違法薬物撲滅」や「共産党との武力紛争終結」を目的とした治安当局による作戦の中で、多くの市民が命を落としている事実に触れなかった。他方で、それに携わる治安当局を称賛し、待遇の向上を約束し、さらに共産主義者を殺せとまで公言した。



【写真】施政方針演説をするドゥテルテ大統領＝2021年7月26日／via Philippine Information Agency

### 大統領令第70号とNTF-ELCAC

大統領は演説の中で大統領令第70号でNTF-ELCAC(共産主義勢力との武力紛争を終わらせるための全国タスクフォース)を提唱。政府は武力紛争の根本原因である貧困や歴史的な不正、社会的な不平等を解決するために、共産党の拠点となっている地域での村落開発プロジェクトを優先、総額162億4千万ペソ(約356億円)が812の村で実施される2276件のプロジェクトに拠出された。

### 公的資金投入額の多い 地方で、より多くの人権 侵害が発生

「貧しい村に援助の手が差し伸べられた」という印象とは裏腹に、開発プロジェクト資金の受領額が上から5番目までの地方で、394件の超法規的殺害(EJK)のうち197件、50%が、186件の強制失踪のうち6件、33%が発生した。EJK被害者394人のうち313人が農民だ。



【写真】ELCACの「村落開発プロジェクト」によるインフラ工事の起工式／via Philippine Information Agency

ネグロス島のカバンカラン市で2019年1月、ある農民グループが、NGO PDGとの関係を断ち国軍の支援に切り替えるよう国軍から迫られた。このグループは、PDGの法的サポートを受け、包括農地改革計画に沿った農地分配の手続きを進めていた。だが国軍は、PDGは共産党軍事部門新人民軍(NPA)のフロント組織だ、ベルギーから資金を提供されていると非難した。

こうした国軍などによるハラスメントによって、農民団体メンバーらが続けてきた農地の分配や労働環境改善などを訴える活動が、窮地に追いやられている。

現場で不公正に抗ってきた人びとが思うように活動できなくなっている中で、外部にいる私たちの役割はいつそう大きくなっている。(Ann O'brien)

## フィリピン人権ニュース【コラム】

### 小さな声がいつか雷のように サラの一周忌によせて

2020年8月17日、ネグロス島のバコロド市で、人権擁護団体カラパタン・ネグロスの中心的な活動家であり、医療支援活動などにも携わっていたサラ・アルバレス(サラ)が、居宅近くの路上で銃殺されました。

常に標的になりながら、サラは身を挺して他者を助けるために奔走していました。

「私は、小さな声が、いつか大きな雷のようになって響く時がくると信じています。自分も含め多くの人権擁護者の命が危険に晒されていることはとても心配です。でも、もっと危険なのは、私が農民の問題や多くの人権問題に沈黙することと思っています」(そら)

### ドゥテルテ政権下での不当裁判 と抵抗活動

フィリピン北部先住民族イゴロットの先住民族の権利確立を目的とした組織コルディラ人民連合(CPA)のウィンデル・ボランゲットCPA代表。

スペイン植民地時代より現在まで先祖伝来の土地を守ろうと抵抗するイゴロットと政府・企業との絶え間ない闘争と交渉が続けられてきました。CPAという強力な組織は、この闘争・交渉の経験によって作り上げられたと言えます。合法的な活動にもかかわらず、1984年設立時より現在まで、CPA活動家たちは未だ続く先住民族権利をめぐる闘争により、命の危険に晒され続けています。(栗田英幸)

### 海外労働者からのワクチン接種 証明書無料化を州知事が要請

フィリピン国営通信社PNAIは8月15日、フィリピン人海外労働者(OFW)が出国の際に持参すべき”イエローカード”、つまり新型コロナウイルスワクチン接種完了を示す国際予防接種証明書は無料発給されるべきだと報じた。

フィリピン政府は一貫して海外労働を促進し、金なる木として搾取し続けてきた。今回はそこにイエローカード発行料370ペソの上乗せだ。検疫局に登録の際に支払うとされている。当局各レベルの利権とされなければいいのだが...(横山正樹)

### 麻薬おとり捜査とある村長の 死：進まない真相解明

ミンダナオ島南部のサラングニ州で漁業労働者等の支援にあたってきたジョニー。2019年7月にサラングニ州アラベル町カワス村の村長に就任した。

2020年5月29日、警察の麻薬取締ユニットがやってきた。村落警備員(tanod)のサルバートル・オログ氏に対する麻薬おとり捜査を行うためだという。コロナ対策詰所にいたオログ氏が殺害された。ジョニー村長は、捜査員に「オログ氏が逮捕を拒み、捜査員に発砲したために殺した」という書類への署名を拒んだ。そして何者かに銃殺された。(石井正子)

## ご寄付のお願い

Stop the Attacks campaign (SAC) の活動はみなさまのご支援により支えられています。

ご寄付には二つの方法があります。

### 毎月定期的な寄付

こちらから簡単にお手続き頂けます。  
(Good Morning <https://community.campfire.jp/projects/view/428272>)



### ゆうちょ口座への 単発の寄付

銀行からのお振り込みの場合

店名: O九八

店番: 098

種目: 普通預金

口座番号: 3830295

口座名: NGO Stop the Attack Campaign (エヌジーオー ストップ ザ アタック キャンペーン)

ゆうちょ銀行からお振り込みの場合

記号: 10940

番号: 38302951

口座名: NGO Stop the Attack Campaign (エヌジーオー ストップ ザ アタック キャンペーン)